

個別課題:がん患者指導管理料の算定件数
(令和元年7月1日～12月末日)

施設名:	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
31 市立柏原病院	<p>がん患者指導管理料イ(500点)及び、がん患者指導管理料ロ(200点)の算定件数</p> <p>①がん患者指導管理料イ 76件 ②がん患者指導管理料ロ 31件</p>	<p>・がん患者指導管理料イに関しては、がん患者を診療している診療科の医師・看護師に、告知時や治療方針説明時に、認定看護師に連絡をしてもらうよう徹底する</p> <p>①緩和ケア委員会を通じて各部署に広報を行った。 ②緩和ケア担当医師より医局会を通じて、医師に周知を行ってもらったが、ドクターアシスタントへの周知ができなかった。</p> <p>・がん患者指導管理料ロに関しては、</p> <p>①症状スクリーニングシートで介入の必要な患者を把握したが全症例はできなかった。 ②がんの告知後や再発時、化学療法のレジメン変更時、症状出現時など、リアルタイムな介入ができるよう調整を行うー 外来患者はタイムスケジュールの調整が難しく、依頼時に他の面談や相談が入っており、介入できなかったこともあった。</p>	<p>①がん患者指導管理料イは76件 緩和ケア委員会及び医局会などで、がん告知時に、がん性疼痛看護認定看護師に連絡してもらうよう周知した。 外科や皮膚科の医師からの連絡が増えたが、科によってばらつきがみられた。 ドクターアシスタントへの周知を積極的に行うことが必要であった。 また、他の面談と重なっていることもあり、連絡があっても同席できないこともあった。</p> <p>②がん患者指導管理料ロは31件であった。 緩和ケア病棟からの依頼やスクリーニングシートから介入が必要な患者の把握を行った。</p>	<p>がん患者指導管理料イに関しては、件数が増加しており、認定看護師の時間調整が難しくなっている。 がんの告知日に同席できないことがあったが、検査結果説明日と診断結果をドクターアシスタントと情報共有し、効率的な時間調整を行っていく。 がん患者指導管理料ロに関しては、認定看護師が症状スクリーニングで介入が必要な患者をあらかじめピックアップしているが、急な相談や、外来受診日に依頼が入ることがあるため、1日のタイムスケジュール管理を行い、急な介入依頼や必要な患者の対応を行っていく。 認定看護師の次世代育成を行う。</p>